

5月23日の選考委員会で、2016年度助成校・団体35件の中から『第7回日産財団理科教育賞』の大賞候補4件が決定いたしました！

7月24日に、横浜ベイホテル東急で開催する第7回理科教育賞贈呈式で、候補者による成果発表の結果、大賞と理科教育賞が決定します。

また、会場内では2016年度助成校・団体31件の成果ポスターを展示し、贈呈式参加者による投票の結果、『理科教育賞ポスターセッション賞』が決定します。

### — 日産財団理科教育賞 —

子ども達の科学的思考能力や、教師の指導力を向上させる教育実践において、多大な成果をあげ、かつ成果の波及効果が期待できる実践に『日産財団理科教育賞』を授与します。その中で、特に2年間の実践による「学びの質の向上」が大きいと判断された実践を『大賞』に認定します。

大賞：100万円 理科教育賞：50万円 ポスターセッション賞：20万円

#### 【神奈川県代表】

##### 横浜市立三ツ沢小学校

『「自らかかわり」「考えを深め合う」子どもの姿を求めて』  
～体験活動と言語活動が充実する単元づくりと授業づくり～

子ども達の「自らかかわり」「考えを深め合う姿」を目指し、そのために必要な場の設定、また、その際、どのような見方・考え方を働かせて子ども達にどのような資質能力をつけるかについて教師自身が明確な視点を持ち、授業において意図的に仕組むことで、目指す子どもの姿を具現化する。



#### 【栃木県代表】

##### 下野市立古山小学校

『サイエンスコミュニケーションによる理数教育の授業デザイン』

生活科・理科・総合的な学習の時間・プログラミング教育において、科学を主題材にした説明や討論を行うことで、互いの立場や考えを理解し、内容に応じた適切な表現やわかりやすく正しく伝えるといった科学的なコミュニケーション力を育成する。さらに、サイエンスコミュニケーションによる授業をデザインし、授業改善に取り組んでいくことで、様々な自然事象について客観的な見方ができ、論理的に説明できることや相手にわかりやすく伝えることのできる子どもたちの育成を目指す。



#### 【福岡県代表】

##### 飯塚市立飯塚東小学校

『情報活用能力における思考力・判断力・表現力を身に付けさせる授業づくり』

～知識構成型ジグソー法とプログラミング学習を通して～

本研究は、ICT機器の効果的な活用を通して、自らの課題を持ち、対話しながら思考を深める理科学習指導の在り方を探求するものである。本校では、知識構成型ジグソー法による協調学習の授業づくりを進めている。学習過程の中に、ICTを活用する場面を位置付けることで、対話を通じた思考の深まりを狙う。



#### 【福島県代表】

##### いわき市立小名浜第一小学校

『科学的な思考力・判断力を高める理科学習指導の工夫』

本研究では、これまでの研究の成果を生かして、「科学的判断力」をさらに高めていく上で必要な、「事象提示」「予想を立てる場面における言語活動」「観察・実験の仕方」「考察する場面における言語活動」などを見直し、科学的な思考力・判断力を高める理科学習指導の工夫について探っていく。



### ☆第2回リカジョ賞 各賞決定☆

『第2回リカジョ賞』が、下記の通り決定いたしました。贈呈式では、成果発表もごさいますので、ご期待ください！

グランプリ：和歌山信愛中学校・高等学校 酒井 慎也 氏 準グランプリ：大谷中学校・高等学校 科学部、チーム チョコレイト・サイエンス <順不同>

※ 第3回リカジョ賞の募集期間は、2019年6月10日(月)～2020年2月28日(金)です。詳細は、日産財団ホームページをご覧ください